

長崎総合科学大学
環境・建築学部 人間環境学科 地域文化系
教授 ブライアン・バークガフニ様

突然の、メールをお許し願います。
私の曾祖父は、イギリス人です。
そのルーツは長崎にあると聞いております。
祖父の略歴は、下記の如くです。
もっと詳しく調べたいと思いましたが、いろんな障壁があり、
壁にぶつかってしまいました。
そんなとき、ブライアン・バークガフニ様のことを知りました。
良いアドバイスや情報をいただけるのではと思いメールを差上げました。
下記お読みいただけることを願っております。

[国際貿易港長崎の多国籍社会]

—明治 33 年に撮影された一枚の写真を参考に—

[PDF] Kobe University Repository : Kernel

www.lib.kobe-u.ac.jp/repository/81002117.pdf

図 1 長崎・海星学校小学部の児童たち 明治 33 年

私の母方の祖父『小川清秀』は、自筆の履歴書（昭和 22 年 11 月作成）によれば、
朝鮮元山小学校から、明治 34 年に海星学校に転校、明治 44 年に卒業しています。

【履歴書】

本籍 長崎県長崎市酒屋町 30 番地

現住所 福岡県福岡市鳥飼町四丁目 301 番地

戸主 『小川清秀』

明治 25 年(1892) 11 月 16 日生

[学業]

明治 32 年(1899) 4 月 朝鮮元山小学校 入学

明治 34 年(1901) 4 月 海星学校 転校

明治 44 年(1911) 3 月 海星学校 卒業

[職業]

明治 44 年(1911) 3 月 英米煙草株式会社ニ入社

大正元年(1912) 12 月 佐世保重砲隊ニ入営

大正 4 年(1915) 12 月 上海 中国海関ニ採用サレ

昭和7年(1932)8月迄 上海・営口・青島・海南島・大連・各税関ニ勤務ス
昭和7年(1932)8月 一等副監察長ニ任命
昭和7年(1932)8月 大連税関接收後 残留
昭和12年(1937)7月 薦任官三等事務官 退職
昭和13年(1938)10月 於 大連 貸家業ヲ営ム
昭和22年(1947)2月 終戦ニヨリ大連ヨリ引揚
昭和22年(1947)4月 九州地区 軍政本部 管理人トシテ勤務
現在ニ至ル

右之通相違無之候也

昭和22年(1947)11月 『小川清秀』

〔日本人物情報大系〕第11巻 満州編1 「最新 満州国人名録」

皓星社 1999年10月15日発行

『小川清秀』 p584

生年 明治25年 本籍 長崎市酒屋町 現住 大連市山縣通

現職 大連税関鑑視官 薦七

略歴 明治40年長崎海星中学校ヲ中途退学シ、上海海関ヨリ・・・。

〔日本人物情報大系〕第13巻 満州編3 昭和12年版 満洲紳士録

皓星社 1999年10月15日発行

『小川清秀』 p221

税関監視官、大連税関勤務 本籍 長崎市酒屋町30 生年月日 明治25年11月16日

学歴 明治43年長崎海星学校三年修学 経歴 略

〔中国海関・満洲国大連税関時代の記録、資料添付〕

『小川清秀』の父親は、イギリス人です。

〔Yoshiiwa Notuto〕

没年、明治34年4月27日。叔父（小川清久）宅の過去帳に記載されていました。

〔ジョージ〕 弟の記憶の彼方にありました。

私の母（小野文子・旧姓小川）から、長崎税関長・元山税関長と聞いておりました。

英国総領事館にお願いして調べて頂き、長崎税関から回答があり、イギリス人は税関長になっていない。歴代の税関長も教えて頂きました。

元山税関長については、韓国の英国大使館に問い合わせして下さい。但し、古い記録は保存しているかどうかは分からないと、回答を頂きました。

韓国の英国大使館には、問い合わせをしております。

[幕末・明治期における長崎居留地外国人名簿] 1-3

これも教えて頂きました。京都府立図書館で調べましたが、

[Yoshiiwa Notuto] [ジョージ・ノット] は、記載されておられません。

[幕末明治在日外国人・機関名鑑 ジャパン・ディレクトリー] 全 48 巻

大阪府立中央図書館にあるので、大阪府枚方市に住む従妹（小川清秀の長男の長女）に調べて貰おうと思っています。

『小川清秀』の母親は、[小川 エン] 日本人です。

生年 慶応 1 年(1865)12 月 28 日 歿年 大正 2 年(1913) 4 月 14 日

長崎県長崎市十善寺郷 2 4 2 番戸 長崎県長崎市十善寺郷 7 0 番戸 中ノ平 4

私の母（小野文子・旧姓小川）は、入籍していたと話していましたが、除籍謄本で確認しましたが、入籍はしていません。

『小川清秀』は、戸籍名『小川ジョセフ』。中国税関では、『小川常是夫』。

大正 8 年(1919) 6 月 4 日 許可=因リ其名[ジョセフ]ヲ[清秀]ト変更届 同日受付 除籍謄本。

図 1 長崎・海星学校小学部の児童たち 明治 33 年

※ 写真の所有者であるノルウェー人女性の父（四列目の左から二番目）以外は、写真のどの児童も未だ身元確認されていない。 p3/15

『小川清秀』の履歴書によれば、明治 34 年に海星学校転校となっており、集合写真と本人の写真（30 歳代頃）を見比べると、残念ながら、写っていないようですが、記憶と記録は合致しないところもあり、よく分かりません。写真を添付させて頂きました。

昭和 21-22 年に、小野家・小川家、満州から引き揚げなので、写真は、数枚あるだけです。

私（昭和 22 年(1947)3 月 10 日生まれ）は、平成元年 2 月 8 日、原因不明の病気にかかり、車椅子の生活をしています。数年前から、インターネットを利用して、祖父・祖母・曾祖父の事などを調べております。

父方の曾祖父は、小野梓 [早稲田大学一学苑創立の母]。

父方の祖母は、小野安子（小野梓の次女）。[女医で、医術開業試験合格、第 89 号です。明治 39-40 年頃、九州大学医学部（当時 京都帝国大学福岡医科大学）の聴講生であったと、祖母が話していたので、九州大学大学文書館に問い合わせしましたが、公式の記録は残っていませんでした。もし、残っておれば、女性聴講生の日本第一号でした。小野安子は、生涯独身で、小野梓の長女（墨）が、松村仙造に嫁ぎ、三男（又一）を小野安子の養子にしました。

祖父（松村仙造）は、島根県第一尋常中学校、第五高等学校（熊本）、東京帝国大学（当時法科大学 政治学科）から京都帝国大学（当時 法科大学 政治学科）に転学、卒業。

大本教に入り、大正 13 年、出口王仁三郎と蒙古入りしています。

父（小野又一）は、神戸一中、第三高等学校、京都帝国大学機械工学科（昭和 14 年卒業）、満洲飛行機製造株式会社に就職。昭和 18 年、小川文子と結婚。

昭和 46 年 8 月、京都ノートルダム女学院、事務局勤務。昭和 47 年 1 月 31 日歿。

小川清秀が、昭和 9 年、大連に建てた家は、現在も残っています。

20 数年前に、叔父（小川清久）が、大連に行った時は、幼稚園になっていたと話していました。数年前に、弟（小野雄二）が行った時は、個人の家になっていました。

「添付資料」

01-写真『Yoshiiwa Notuto』[小川ノット] 曾祖父・イギリス人

02-写真『小川清秀』

03-『小川清秀』自筆・履歴書（昭和 22 年 11 月作成）

04-税関・履歴『小川清秀・常是夫（ジョセフ）』

05-略歴 小川ノット

06-略歴 小川清秀

[Yoshiiwa Notuto] [ジョージ] 曾祖父・イギリス人。

足跡を調べる方法は、あるのでしょうか。

長々の乱文、申し訳ございません。

宜しく願い申し上げます。

平成 23 年(2011)10 月 31 日

〒622-0331

京都府船井郡京丹波町中台垣内 57

小野一雄

電話 0771-86-1438

E-mail : ono22@cat.zaq.jp